

平成26年度大仙市学校評価共通項目について

評価項目(大項目)	選択	評価指標(小項目)	質問内容	評価結果の分析及び成果・課題				改善に向けた方策等
				自己評価(教職員)	評価	保護者アンケート又は学校関係者評価	評価	
楽しく明るい生活(小) 確かな人間力(中)	○	基本的な生活習慣	・あいさつの励行について、学校の取組は十分ですか。 ・望ましい集団生活の確立と自己有用感がもてるように、指導が十分されましたか。	あいさつ 肯定的評価 75.0%		あいさつ 肯定的評価 83.6%		<ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ+1」運動【継】 ・職員室前廊下「あいさつ通り」設定【継】 ・全校縦割り活動(ピアサポート)の実施【継】 ・児童会あいさつ運動【継】 ・学区内でのあいさつポスター掲示【継】
	○	集団生活と自己有用感		自己有用感 肯定的評価 78.3%	B	自己有用感 肯定的評価 83.5%	A	
心力の向上		思いやりの心・命の大切さ	・将来への夢や目標、高い志を持たせる指導について、学校の取組は十分ですか。 ・難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦する力を育む指導について、学校の取組は十分ですか。	高い志 肯定的評価 75.0% 挑戦する力 肯定的評価 58.3%	B	高い志 肯定的評価 75.3% 挑戦する力 肯定的評価 78.8%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・Q Uの分析を生かした学級経営の徹底【継】 ・全校縦割り活動(ピアサポート)の実施【継】 ・児童会主体の児童集会実施【継】 ・称揚の機会を生かした学級指導実施【継】
	○	たくましい心・向上心		挑戦する場の設定や失敗しても許される人間関係作りを継続してすすめていく。				
学力の向上		学ぶ意欲の高まりと自学の習慣化	・学校での教科指導について、基礎的・基本的な内容が確実に定着できるように努めていますか。 ・学校での教科の指導について、楽しく分かりやすいと言っていますか。	基礎基本 肯定的評価 83.4% 教科指導 肯定的評価 83.4% 家庭学習 肯定的評価 91.6%	A	基礎基本 肯定的評価 87.1% 教科指導 肯定的評価 84.7% 家庭学習 肯定的評価 87.1%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学力フォローアップ期間設定(4月11月2月)【継】 ・学び教室実施(年2回)(太田公民館と連携)【継】 ・「学習のしつけ編」「授業の進め方編」の「指導のガイドライン」を基にした指導の徹底【継】 ・「太田の家庭教育」ガイドラインの作成と地域全戸への配布【継】 ・参観日での家庭学習ノートの提示と学年懇談での啓蒙【継】
	○	基礎・基本の定着	・学校での教科指導について、基礎的・基本的な内容が確実に定着できるように努めていますか。 ・家庭学習の励行について、学校の取り組みは十分ですか。	教科指導については、昨年度と比較して肯定的評価が伸びている。家庭学習も手引きの作成等によって定着してきている。				
健康の維持増進・体力の向上	○	健康な体づくり	・給食指導、うがい・手洗い等の健康指導について、学校の取組は十分ですか。 ・体力の向上について、学校の取組は十分ですか。	給食う手洗い等 肯定的評価 83.3% 体力向上 肯定的評価 66.6%	B	給食うがい手洗い等 肯定的評価 85.9% 体力の向上 肯定的評価 74.1%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・弁当の日実施【新】 ・一杯の味噌汁運動実施【新】 ・保健集会(食育)の実施【継】 ・残食調べ実施【継】 ・徒歩通学の励行【継】
		食育への取組		体育の学習だけでなく日常的に運動する時間を取り入れるため、日課表を改善する。				
安全・安心	○	安全確保・安全教育・防災教育	・交通事故や自然災害、不審者などから身を守る指導は、適切に行われていますか。	安全安心指導 肯定的評価 91.7%	A	安全安心指導 肯定的評価 83.5%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全教室実施【新：自転車と歩行2回実施】 ・避難訓練(地震・火災)実施【継】 ・避難訓練(不審者対応)実施【継】 ・災害時の引き取り訓練実施【新】 ・月1日の交通安全街頭指導実施【継】 ・月1日の安全点検日の設定【継】
		登下校時の事故防止						
組織運営・学校力		校長のリーダーシップと教育目標の達成	・学校では、目指す学校の姿や実現のための具体的施策をわかりやすく示していますか。 ・「コラボ・スクール」の取組によって夢や将来の希望をもったり、挑戦しようとする心が育っていますか。	施策説明 肯定的評価 91.7% コラボ・スクール推進 肯定的評価 100.0%	A	施策説明 肯定的評価 82.4% コラボ・スクール推進 肯定的評価 77.6%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの更新頻度を高める【継】 ・コラボ・スクール推進委員会の実施(2回)【継】 ・PTA全体会での経営説明実施【継】 ・学校報の充実【継】
	○	キャリア教育推進による総合的な学力の育成						
教職員の資質向上	○	教師の授業力・指導方法の工夫改善	・学校の教職員は、お子さんのことをよく理解してくれていますか。 ・教職員は、子どもと十分語り合うなど人間的なふれあいを確保し、好ましい人間関係づくりに努めていますか。	児童理解 肯定的評価 75.0% 人間関係づくり 肯定的評価 75.0%	B	児童理解 肯定的評価 84.7% 人間関係づくり 肯定的評価 83.5%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・Q Uによる分析を生かした学級経営【継】 ・ソーシャルスキルトレーニングの実施【継】 ・計画的な児童との二者面談設定(5月、12月)【継】 ・PTA学年懇談(年4回)【継】 ・家庭学習コメント指導【継】
		9年間を見通した学習指導、学年・学級経営						
開かれた学校づくり	○	保護者や地域との連携	・保護者の皆様や地域の方々のご意見を要望を生かすために、学校はよく取り組んでいますか。 ・学校の教育活動や子どもたちの活動の様子を、適切に伝えていきますか。	意見受容 肯定的評価 100.0% 情報発信 肯定的評価 100.0%	A	意見受容 肯定的評価 83.5% 情報発信 肯定的評価 90.6%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・「みんなの登校日」を前・後期に設定【継】 ・PTA授業参観日の土日開催【継】 ・長期休業前の保護者との面談実施【継】 ・家庭訪問・地域訪問の実施【継】
	○	特色ある教育活動の推進と情報発信						
生徒指導・進路指導		組織的な教育相談体制の整備	・不登校・いじめのない学校にするために、学校はよく取り組んでいますか。	不登校・いじめの根絶 肯定的評価 88.3%	A	不登校・いじめの根絶 肯定的評価 77.6%	B	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ不登校に関わる調査実施(前後期)【継】 ・児童との面談期間設定(5月、12月)【継】 ・児童会語る会実施(職員会議時)【継】 ・Q Uによる分析を生かした人間関係の改善【継】 ・スクールカウンセラーの活用【継】
	○	不登校・いじめ・問題行動等への対応		教職員との認識に差が見られ、学校の取り組みを周知する必要があります。				
教育環境整備	○	校舎・校地の管理と整備	・学校の校舎・校地内の環境は、いつも適切に整備されていますか。	校舎・校地内の環境整備 肯定的評価 100.0%	A	校舎・校地内の環境整備 肯定的評価 89.4%	A	<ul style="list-style-type: none"> ・学校安全日設定(各月1日)【継】 ・PTAとの環境整備共同作業実施【継】 ・親子ふれあい花壇作業実施【継】 ・廊下等の照明のLED化【継】
		施設・設備の整備と活用						

※各校においていずれか1つを選択

※該当する内容事項とそれについての評価結果に基づき記載

※A=十分満足 B=満足 C=少し不十分 D=不十分 4段階で絶対評価

子どもサイド

教師サイド